

OCU

RCHR

大阪市立大学人権問題研究センター
第86回サロnde人権

話題提供：関口寛
(四国大学)

「近代日本の知識人と部落問題認識——人種主義とヒューマニズムの間で——」

無料

11月16日(水)

午後1:30~3:00

大阪市立大学
田中記念館2階会議室

お問い合わせはセンターまで
06-6605-2035
otazune@rchr.osaka-cu.ac.jp

近年の日本史研究では、近代日本の被差別部落民認識に、人種主義の影響が見られることが強調されてきている。19-20世紀の世紀転換期に、日本の知識人は被差別部落に対する研究や救済活動を開始するとともに、欧米における様々な人種科学の学知を移入し、部落民イメージを形成していった。講演では、人類学者の鳥居龍蔵や、社会運動家の賀川豊彦らの言説を取り上げ、彼らの部落問題認識と、そこにみられる人種主義について考察する。